

森を建てよう。[®]

建築家が創るHOPデザイン。

和魂洋才を形にした都会の中の住まい

東京都 O邸

海外生活の長いOさんが終の住処に求めたものは、完全洋式ではなく、洋の中に日本古来の素材や技術を駆使した家で生活したいという思いでした。海外生活が長いがゆえに、昔のままの日本家屋に対する憧れを強く抱き、日本的な美しさを再確認されていたのです。和の精神性を主軸とし、和魂洋才の考え方で全体の設計が進められました。道路から5mの高台に登る階段アプローチには柔らかい雰囲気沖縄石を用い、敷地に登り切って目に入る和の離れとの調和を取りました。内装材は国産の天然木を多用し、リビングの格天井は和に偏らないように現代風にアレンジしました。漆喰の塗り壁、銅板葺の屋根等、日本古来の建築様式を取り込み、洋の空間との調和を試みた住宅です。現代の侘び住まいが、都会の真ん中で静謐な空間を持つ建物として完成しました。

洋風のリビングダイニングに格天井。大胆な発想は、西洋建築と日本家屋の融合。
撮影 / 木田 勝久

HOP
Housing Operation Project Group